

K Y O K O (1996)

メディア 映画
ジャンル ドラマ 音楽
製作国 日本
色彩 Color
時間 100分
初公開日 1996/03/30
公開情報 デラ・コーポレーション

【解説】
日本人少女と、彼女のダンスの師が繰り広げる日米合作のロードムービー作品。監督・原作・脚本は「トパーズ」の村上龍、製作総指揮は「X線の眼を持つ男」「残酷女刑務所」「デス・レース2000年」のロジャー・コーマン。「A Reason to Believe」のサラ・コーリーが撮影を担当した。出演は「忠臣蔵外伝 四谷怪談」の高岡早紀、カルロス・オソリオ。
幼い頃に両親を亡くし親戚に養育されたキョウコは、8歳の夏にGI(Gender Identity=性同一性)のホセに出会う。ホセからダンスを教わり、その魅力に取りつかれたキョウコは、ホセがアメリカに帰国した後もダンスを続けるが、大人になった彼女はホセにお礼を言うべく彼の住むニューヨークへ渡る。ホセの友人らから彼の居所を聞き回るが、ホセは見つからない。そんなとき、ホセの叔父パブロが経営するバーを見つけ、店を訪ねるキョウコ。冷たい対応をするパブロだったが、キョウコがホセから習ったダンスを見せると、ホセの居所を彼女に告げる。実はホセはHIVに冒され、記憶も定かではない状態だったのだ。

【クレジット】
監督 村上龍
製作 江尻京子
村上龍
製作総指揮 ロジャー・コーマン Roger Corman
原作 村上龍
脚色 村上龍
撮影 サラ・コーリー Sarah Cawley
美術 ジョン・タイロットソン
編集 ジェームズ・ステラ・J r
音楽 NG・ラ・バンダ
オルケスタ・アラゴン Orquesta Aragon
セプテット・ナショナル Septet Nacional
出演 高岡早紀
カルロス・オソリオ Carlos Osorio
スコット・ホワイトホースト Scott Whitehurst
オスカー・コロン Oscar Colon